

♪ 春 ♪



大好きなお友達との別れと、そしてまた新しい出会い……。春は、環境も生活サイクルも大きく変わることの多い季節です。子供たちだけでなく、お母さんも何かと戸惑うことが少なくない日々ではないでしょうか。

そんな中、ふと手にした1冊の本に、ちょっと興味深い話が載っていたので、ご紹介したいと思います。

— それは、日常的によく見かける光景、保育園での出来事です。—

保育園に3歳の子供を預けて、仕事を再開したお母さん。

ある日、仕事の都合でお迎えの時間が遅くなり、息を切らして保育園に飛び込んだら、自分の子供だけがポツンとひとり残っていました。

その様子を見たら、子供に申し訳なくて涙が止まらなくなってしまい、彼女は「ごめんね。

遅くなってごめんね。」と何回も謝りました。

その時、日頃お母さんの頑張る様子を見ていたベテランの保育士さんから「お母さん、『ごめんね』ではなく、『待っていてくれて、ありがとう』と言ってあげてください。待っていてくれたことを褒めてあげてください。」と言われたそうです。



お母さんが子供に「ごめんね」と謝るのは、自分を責める気持＝マイナスの心があるから、と著者は言っています。それが涙が止まらないほど強い感情だったのは、お迎えに遅れた事だけじゃなくて、保育園に預けていることや、子供といつも一緒にいられないことを後ろめたく思う気持ちがあったのかもしれませんが。

でも、子供は、そんな気持をどう受け止めたらいいのでしょうか。

子供がお母さんから贈ってほしいのは、マイナスの気持ではなく、喜び＝プラスの心です。「ありがとう」という言葉は、プラスの心がたっぷり込められている、子供にとって最高のほめ言葉なのです。